69

ソバにおける茎の成長、開花、花房の形態および結実におよぼす日長の影響 道山弘康*・土本敬二・谷賢一郎・平野達也・林久喜 ¹⁾・ C.Campbell²⁾ (名城大学・ ¹⁾ 筑波大学・ ²⁾ Kade Research Ltd., Canada)

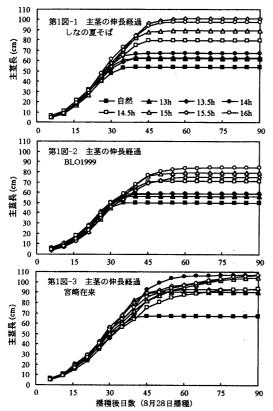
日本作物学会紀事 (Jpn.J.Crop Sci.) 73巻(別2号) 2004年 Influence of Day Length on Stem Growth, Flowering, Morphology of Flower Clusters, and Seed-Set in Buckwheat.

H.Michiyama*, K.Tsuchimoto, K.Tani, T.Hirano, H.Hayashi¹⁾ and C.Campbell²⁾ (Meijo University, ¹⁾ University of Tsukuba, ²⁾ Kade Research Ltd., Canada)

ソバにおいて主茎の伸長、開花、花房の形態および結実のさまざまな成長パラメーターが日長時間の違いによっていかなる変化を示すかを明らかにし、それらの品種間差異について明らかにした.

[材料と方法] 普通ソバ夏型品種の「しなの夏そば」、秋型品種の「宮崎在来」、カナダの Kade Research Ltd.に保有されている枝分れ (DM 花房) が多発し花房の長い系統である 「BLO1999」を、2003 年 8 月 28 日に 1/5000 a ワグナーポットに 5 粒ずつ播種した. 白 熱電球で朝夕補光し、13、13.5、14、14.5、15、15.5、16 時間の日長処理区および播種期の 13 時間 5 分から日長時間が徐々に減少する自然日長区を設定した.

[結果と考察] 日長時間が長くなると、主茎の伸長期間が増加し、初花節が高くなって開花始期が遅れ、咲き上がり速度が低下し、開花数が増加し、子実数が減り、結実率が低下した、本研究では DM 花房が増加し、小花房数が増加し、花房が長くなることもわ



かった. これらは「BLO1999」だけでなく、 日本の品種「しなの夏そば」「宮崎在来」でも 同様であった. 各パラメーターは日長時間の 違いに対する反応のしかたが異なったが、3 種のパターンがみられた. 夏型と秋型の品種 間差異は1) 主茎の伸長経過、2) 初花節と開 花始期、3) 咲き上がり速度、4) 子実数と結 実率にみられたが、それらには4種のパター ンがあった.

